

戦史資料

獨立混成第六十旅團五兵隊長

陸軍大尉 黒木圭三



一、編成・装備関係

1. 將校 四(重曹一ヲ含む)

准士官 三(小隊長ニヲ含む)

下士官 二五

兵 二八

計 二八〇名

2. 部隊長 大尉 黒木圭三

小隊長 中尉 欠下 武 同 川村民雄

附屬官 大尉 桃井 範

3. ナシ

4. 現地民(宮古島)ヲレテ若干人負自活ニ協力セシム

二、部隊履歴、概要

一、昭和九年有十五日特許江滿洲第三六一部隊ニ於テ編成

陸軍

0983

一、昭和十九年九月十四日沖繩縣宮古島平良港上陸。同日ヨリ同島ノ防衛ノ爲各作業

一、昭和二十年自四月二十七日至六月二十日天號作戰（二級戰）參加

一、昭和二十年十二月十一日宮古島出發

一、昭和二十年十二月十七日浦賀港上陸。同日復員下令

一、昭和二十年十二月二十日復員完結

三、指揮隸屬關係其變遷ノ概要

獨立混成第六十旅團ニ隸屬。變遷ナシ。

四、作戰準備關係

1. 陣地構築、爲各隊ニ配屬並協力

2. 自隊ニ陣地ナシ

3. 各小隊等ヲ各部隊ニ配屬命令外ナシ

4. 1. 露營地附近ニ分散配置

2. 現地自活ノ一及一畝ヲ獲得シ主トシテ甘藷ノ栽培

昭和十七、四（奉監納）

0984

ハナシ

5. 肉交訓練(對戰車斬込)

五. 戦闘状況

1. 天號作戦(二級戦)

野戦陣地重要部構築並指導

水際障り物構築設置

2. 昭和三十年五月四日十一時三十分頃十一隻ニヨリ約五十分間約七五発ノ

艦砲射撃ヲ受ク

3. 昭和十九年十月十日ヲ平良町並飛行場爆撃開始遂次増加シ

昭和二十年三月ヨリ急激ニ増加ス

(飛行場水際陣地露営地ヲ銃爆撃ス)

人員損傷 負傷通機関砲創一名

4.

5.

閉塞ス

0985

6. 関與セズ

六. 給養衛生

1. 一日給養量左ノ如シ

米(最低)一八〇五

他ノ現地自活ヨリ生ズル甘藷等ヲ以テ補フ

一日ノ平均カロリー

最低一八〇〇

最高三三〇〇

2. マラリア・疥癬・等依リ病死者ヲ出セリ

七. 終戦ヨリ歸還迄ノ行動ノ概要

陣地ノ整理(各部隊ニ配屬<sup>並</sup>協力)

現地自活作業

道路補修<sup>並</sup> 桟橋補修構築

昭和十七、四(泰監納)

0386